

会 議 事 録

1 会議名	令和2年度第2回長岡市寺泊水族博物館協議会
2 開催日時	令和3年2月15日（月） 午後3時00分から午後4時30分
3 開催場所	長岡市寺泊文化センター（はまなす） 3階 大研修室
4 出席者名	協議会委員 柳下委員長、金内副委員長、大浦方委員、鹿目委員、品田委員 遠山委員、古川原委員、丸山委員、山田委員 委員以外の出席者 小池教育部長、河内寺泊支所長 河上政策企画課長補佐 （事務局＝科学博物館） 小熊科学博物館長、神保科学博物館長補佐 青柳寺泊水族博物館長、安藤主査、矢引主査 田中会計年度任用職員
5 欠席者名	石井委員
6 議題	報告（1） 令和2年度事業実施状況について （2） 令和3年度事業実施計画（案）について （3） 水族博物館整備事業の計画（概要）について

7 審議結果の概要	<p>(1) 令和2年度事業実施状況について 概要を事務局より報告</p> <p>(2) 令和3年度事業実施計画(案)について 概要を事務局より提案</p> <p>(3) 水族博物館整備事業の計画(概要)について 概要を事務局より報告</p>
8 審議の内容	
事務局	<p>(1) 令和2年度事業実施状況について (資料により説明)</p> <p>主な意見は次のとおり。</p>
委員	<p>市政だよりで紹介されていたコブダイを見に寺泊水族博物館に立ち寄ってきた。2010年に公開された『オーシャンズ』という海中を映したドキュメンタリー映画に佐渡沖のコブダイが登場し、当時話題になっていたが、実際に水槽内を優雅に泳いでいるコブダイを見て、新しい魚が入ると大きな刺激になるとあらためて感じた。新しい魚を導入するには色々と苦労があると聞いているが、寺泊の漁師の方々と連携してチャレンジして欲しい。</p> <p>スタンプカードについて、景品としてなるべくお金をかけずに用意するのであれば、ペンギンの羽のしおりやオリジナルマグネット等の他に、全国的に流行っているものとしてマンホールカードやダムカードのようなものを制作してみるのもいいと思う。</p> <p>市政だよりの中で職員の募集の案内があったが、前回の会議でも提案したとおりコロナ禍において万が一職員が感染した場合、ほかの場所から素人の職員を連れてきてもできることは限られている。そして水族館というものはもちろん魚がメインではあるが、それをどのように飼育展示するかは職員に委ねられている。魚を充実させることはもちろんだが、常に人を育てていくという視点を持ってほしい。市の財政状況は我々からは見えないが、こういった専門職が果たして会計年度任用職員で良いのだろうか。働いている人が楽しくなければ観覧者に笑顔で接することはできないと思うので、優秀な人材をきちんとした待遇で迎え入るようにするべきだと感じた。人材づくりは時間がかかるが、今後も円滑に運営を続けていくためにも考えて欲しい。</p>

委員長	職員募集というのは臨時職員なのか。
事務局	現在の職員構成は、寺泊水族博物館全体で12名、その内4名が正職員、8名が昨年から制度が始まった会計年度任用職員となっている。その会計年度任用職員の中でダイバーが2名、飼育員が1名、専門員が3名、事務員が2名いるが、今回の募集は専門員である。
委員長	若い職員のやりがいという話があったが、正規非正規問わずか。
事務局	12名の職員の中で、三十代以下の若い職員が7名いる。若手職員のやりがいや意欲を向上させることを考えると、限度はあるが、若手職員が考えた企画はアドバイスをしながら実現可能な方向に進めている。
委員	先ほど市政だよりについて話が出たが、9～11月号ではいつもと違い淡水魚が紹介されていて素晴らしいと思った。市民に親しみのある身近な淡水魚であるオイカワ、長岡市の条例で保護されているホトケドジョウとシナイモツゴ、地域に生息する淡水魚の興味関心を高めて、理解を深めるという観点から選ばれている。 シナイモツゴとモツゴの違いを解説してあるとより良いと思った。
委員	何度も訪れてくれるお客様のためにもスタンプカードの導入はいい試みだと思う。 ペンギンプールのガラス面にあるネットが邪魔で子供たちが見にくそうにしている姿を見かけたが、あのネットは何のためにあるのか。 今は大多数の人がスマホを利用して、出かけるきっかけを作るためにもインターネットでの情報発信は大切である。 他の水族館では観覧者が餌を購入し、その餌を飼育員が好きな動物にあげるサービスを提供しているが、自分が餌をあげた動物の様子を見るために訪れるリピーターの獲得ができるので取り入れてはどうか。
事務局	ペンギンプールのネットに関しては春から冬前までは夜だけかけている。現在は鳥インフルエンザ対策のためかけているが、鳥インフルエンザが落ち着き、観覧者が外を見る機会が増えれば日中は開くようになる。 令和3年度にはホームページのリニューアルを予定しているので、インターネットを活用した集客に関しても力を入れていく。

委員	スタンプカードについて、スタンプ10回で景品だと回数が多いのではないか。
事務局	回数や景品に関しては観覧者のリピート率などを考慮して変更していく予定である。
委員長	上越でシロイルカが死んでしまった件についてどう受け止めているか。
事務局	魚にしても動物にしても、水族館はどうしても限られた空間の中で生き物を展示しているので、今後水族館を整備していく上で、動物の福祉について考えていく必要がある。
事務局	<p>(2) 令和3年度事業実施計画(案)について</p> <p>(3) 水族博物館整備事業の計画(概要)について</p> <p>(資料により説明)</p> <p>主な意見は次のとおり。</p>
委員	ホームページのリニューアルは90周年イベントと同じタイミングで行うのか。
事務局	ホームページは令和4年1月1日にリニューアルしたものを公開する予定である。
委員	Facebook を利用しているのは比較的上の世代なので、若年層への影響力を考えるのであれば Instagram や Twitter での広報も行った方がいいと思う。
寺泊支所長	1月7日に停電があったが、どのような対策をとっていて、どのように対応を行ったか。
事務局	自家発電装置を設置しているため、停電と同時に自家発電に切り替わった。その後は復旧まで飼育職員が機器や水槽の状態を逐一確認していた。悪天候であったが大きな被害はなかった。
寺泊支所長	自家発電装置は何時間稼働できるのか。

事務局	1回の給油で12時間以上稼働できる。
委員	<p>魚ごとに生息地の環境や写真、現地の様子などを紹介し、様々な環境で魚たちが生きていることを伝えれば、もっと興味を持ってもらえるのではないかと思います。</p> <p>また、現在はバックヤードツアーを中止しているとのことだが、水槽ごとの水温や水質、魚が食べる餌などを紹介することで、詳しい知識のない一般の観覧者にも興味を持ってもらえるのではないかと。</p>
事務局	<p>今年度は実施していないが、例年は観覧者にお声がけして水槽や魚の解説を行うスポット解説というものを行っている。きっちりした解説板などはあまり観覧者から興味を持たれない傾向があるので、マジックで水槽に手書きの解説を書いたりしている。</p>
委員	<p>グッズのリクエストが出来るのであれば、ペンギンたちの名前付きカードが欲しい。カードなどコレクション性のあるグッズや、オリジナルデザインのマスク等があるといいと思う。</p> <p>以前観覧していたお子さんが、自分なりの目標を作って観覧していた。館内のあちこちにいるカメを見て場所の違いを考えてたりしていたが、とても楽しそうだった。</p>
委員	<p>近い将来、寺泊水族博物館を建て替えられるように市の中で動きはあるか。</p>
委員	<p>来年度で90周年を迎えるとのことだが、10年後の100周年の時、寺泊水族博物館は建て替わっているのだろうか。早め早めに計画を立てて行動すべきである。水族館というものは修繕のみで何年も維持することは不可能である。寺泊水族博物館よりも新しい葛西臨海水族園ですら建て替えを進めているような状況。将来のビジョンを考えてしっかりとした計画を早いうちに立てるべきである。</p>
政策企画課長補佐	<p>今後の方向性について、以前からお話しさせていただいているが、将来の構想を全庁的に検討していく。</p>
委員	<p>先ほど動物の福祉について話が出たが、寺泊水族博物館は産業、観光だけではなく教育についても重要な施設であると考えている。</p>

<p>寺泊支所長</p>	<p>Facebook を見ていると長岡だけではなく他市町村の情報も出てくるが、寺泊水族博物館ももっと教育的な場面に係わっていくといいと思う。漁協との連携も地域の産業との結びつきとして教育として取り入れられる部分があって魅力的だと感じている。以上のことを踏まえて教育という観点から予算をとって計画してもらえればいいと思う。</p> <p>今年の夏に港の一角にててらどまり若者会議主催の水生生物探索会を寺泊水族博物館の協力をいただいて実施した。寺泊水族博物館と地域とのつながりが、寺泊のまちづくりにも大きな影響を与えてくれているので、今後とも協力をお願いしたい。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
<p>9 会議資料 別添のとおり</p>	